

# 青森県勢 入賞ラッシュ



## スピードスケート

第75回国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会は31日、八戸、三沢、南部の3市町5会場で3競技が行われた。YSアリーナ八戸で行われたスピードスケートは、青森勢が3種目で5人が8位以内と入賞ラッシュ。テクノルアイスパーク八戸などで行

われたアイスホッケーでは、青森の成年が準々決勝で敗れる波乱があった。スピード初の決勝種目Bだった少年男子1万円で、竹中裕馬(八戸西高)が6位、大崎公暉(八学光星高)が8位と、共に終盤まで粘りのレー

詳細13〜15頁  
グラフ16頁  
関連記事26、27頁

スでダブル入賞。同5000円でも木村祐大(八高専)が6位、佐々木快彰(八学光星高)が7位とそろって賞状を手にした。成年男子5000円では赤坂仁(法大)が8位となった。スタンドのファンは選手が各種目でゴールするたびに拍手で健闘をねぎらっていた。

アイスホッケーは成年が準々決勝で、少年が5〜8位決定予備戦で、共に板木と対戦。成年はシリーズゲームの末に惜敗し、詰め掛けた千人のファンもがっかり。ただ、同日夜の同予備戦はきっちり制し、2月1日の5位決定戦に回った。少年は前日の敗戦の悔しさをぶつけるように同予備戦で大量点を挙げ、同じく5位決定戦に進んだ。

フィギュアは三沢アイスアリーナで成年女子がスタート。ファンは国際大会でも活躍する坂本花織(兵庫・神戸学院大)らのハイレベルの演技に酔いしれていた。(取材班)

スピードスケートの少年男子5000円決勝で青森県勢ダブル入賞を果たした、6位の木村祐大(右)と佐々木快彰(中央)

31日、YSアリーナ八戸